

SigmaSystemCenter 3.12 Release Notes

Published: 2022/Apr/8, Document Edition 1.0

Welcome to SigmaSystemCenter 3.12

Release Name

SigmaSystemCenter 3.12

Release Date

2022/Apr/28

Internal Revision

r36543

SigmaSystemCenter はマシン、ストレージ、ネットワークの統合管理ソフトウェア製品です。主に中規模、大規模ITシステム管理者向けのIT環境の統合管理ツールであり、複雑化したITシステムを抽象化し、構成変更や管理作業を容易に実行します。

SigmaSystemCenter 3.12 は企業がプライベートクラウドとパブリッククラウドを活用し機敏なビジネス活動をおこなうことを支援します。

SigmaSystemCenter は SystemProvisioning, DeploymentManager, SystemMonitor性能監視, ESMPRO からなるスイート製品です。

About This Document

本書は、SigmaSystemCenter 3.12 における変更点を中心に記述したリリースノートです。機能や設定の詳細については関連文書、マニュアルを参照してください。ここに記載している情報は、通知することなく変更される可能性があります。

- What's New
- 3.12 Release Notes

What's New

SigmaSystemCenter 3.12 の主な変更点は以下の通りです。

- 管理サーバのOSとして、Windows Server 2022をサポートしました。(＃24334, #24335)
- 管理対象マシンのOSとして、Windows Server 2022、Windows 11をサポートしました。(＃24334, #24335, #24568)
- M.2 Raid ブートディスクのiLO IMLイベントを検出できるようにしました。(＃24998)
- イベント履歴を表示するコマンド (show eventhistory) を追加しました。(＃21916)

Legal Notices

Copyright (C) NEC Corporation 2003–2022.

NEC SigmaSystemCenter, SigmaSystemCenter, MasterScope, EXPRESSCLUSTER, SIGMABLADE and ProgrammableFlow are either registered trademarks or trademarks of NEC Corporation in the United States and/or other countries.

Microsoft, Active Directory, Windows, Windows Server, Hyper-V, Microsoft Internet Explorer, and SQL Server are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

Linux is a registered trademark or trademark of Linus Torvalds in the United States and/or other countries.

Red Hat and Red Hat Enterprise Linux are registered trademarks or trademark of Red Hat, Inc. in the United States and/or other countries.

Intel, Pentium, Itanium, and Xeon are trademarks of Intel Corporation in the U.S. and other countries.

AMD is a trademark of Advanced Micro Devices, Inc.

EMC, VNX, Symmetrix, and CLARiiON are registered trademarks of EMC Corporation in the United States and other countries.

VMware, ESX Server, ESXi, vSphere, vCenter Server and vMotion are registered trademarks or trademarks of VMware, Inc. in the United States and other countries.

Citrix, Citrix XenServer, and Citrix XenCenter are registered trademarks or trademarks of Citrix Systems, Inc.

Foundry Networks, FastIron, ServerIron and the 'Iron' family of marks are trademarks or registered trademarks of Foundry Networks, Inc. in the United States and other countries.

BIG-IP is a registered trademark of F5 Networks, Inc. in the United States and/or other countries.

Oracle and Java are registered trademarks of Oracle and/or its affiliates.

Mozilla Firefox is a trademark of the Mozilla Foundation.

All other brands and products used in this document are the trademarks or registered trademarks of their respective trademark holders. The (R) and TM marks are not explicitly in this document.

Term & Definitions

(#xxxxx)

内部トラッキング番号

Related Information

- 製品情報:
<http://jpn.nec.com/websam/sigmasystemcenter/>
 - SigmaSystemCenter 3.12 ファーストステップガイド
 - SigmaSystemCenter 3.12 インストレーションガイド
 - SigmaSystemCenter 3.12 コンフィグレーションガイド
 - SigmaSystemCenter 3.12 リファレンスガイド
 - SigmaSystemCenter 3.12 sscコマンドリファレンス
 - SigmaSystemCenter 3.12 Web API リファレンス

3.12 Release Notes

このドキュメントでは SigmaSystemCenter 3.12 の変更点について記述します。

SigmaSystemCenter 3.12 は 3.11 に対する品質強化や機能強化をしたリリースです。

製品構成

SystemProvisioning

全体のオーケストレーション機能として、プロビジョニング機能やポリシー機能を提供します。SystemProvisioning のバージョンは 6.11 から、6.12 になりました。

SystemProvisioning のWebコンソールには <http://<管理サーバ>/Provisioning/> で接続できます。

DeploymentManager

Windows, Linux のデプロイメント機能を提供します。DeploymentManager のバージョンは 6.11 から、6.12 になりました。

DeploymentManager のWebコンソールには <http://<管理サーバ>/DPM/> で接続できます。

SystemMonitor性能監視

マシン性能値の監視機能を提供します。SystemMonitor性能監視 のバージョンは 5.15 から、5.16 になりました。

ESMPRO

マシン監視管理機能を提供します。マネージャとしての ESMPRO/ServerManager とエージェントとしての ServerAgent、もしくは、ServerAgentService で構成されます。各エージェントは、マシン依存部を持つため、SigmaSystemCenter の媒体には含まれていません。NEC Express5800シリーズにバンドルされています。

ESMPRO/ServerManager のバージョン は 6.52 から、6.57 になりました。

製品体系とライセンススキーム

本章は SigmaSystemCenter の製品体系とライセンス体系について記載します。

Edition

管理台数や機能により、以下のエディションを用意しています。

- Basic Edition
- Standard Edition
- Enterprise Edition

日本市場向けは日本語版、海外市場向けは英語版で構成します。

海外市場向けには、Enterprise Edition は存在せず、代わりに Enterprise License を提供しています。

また、VirtualPCCenter の基盤として VPCC Edition ライセンスを定義しています。VPCC Edition の製品構成は Standard Edition と同じです。

SigmaSystemCenter 3.2 から メディアキット の提供を開始しました。メディアキットはインストール媒体のみでライセンスは含まれていません。(＃13386)

SigmaSystemCenter 3.6 から すべてのライセンスの送付を電子化しました。(＃19757)

Basic Edition

Basic Edition は追加可能なターゲットライセンス数を8台に限定したエディションです。VMホストソケットライセンスを適用する場合、8台までのマシンを管理できます。

製品構成は Standard Edition と同じで、全ての機能を使用することができます。

Standard Edition へのアップグレードが可能です。

Standard Edition

Windows / Linuxサーバ、Windows クライアントのOSを対象とし、サーバOSは100台まで、クライアントOSは4000台までのターゲットライセンスを追加可能な中規模システム向けの Edition です。サーバ、ストレージ、ネットワーク、VMの構成制御機能を搭載。さらにサーバ統合、クライアント統合の両立が可能となります。

Standard Edition でVMの構成制御をおこなう場合は、仮想サーバ管理オプションが必要です。

Enterprise Edition

追加可能なターゲットライセンス数に制限のない大規模システム向けのエディションです。Standard Edition の機能に加え、以下の違いがあります。

- 仮想サーバ管理オプションが含まれます。
- コンテナ管理オプションが含まれます。
- 10台分の Network Appliance Control オプションが含まれます。
- Cisco UCSの制御管理が可能です。(＃9764)
- PFC Controlオプションが含まれます。(＃19157)

なお、海外版では Enterprise License として提供されます。

Management Server License

各Edition製品には、一つの Management Server License が定義されます。これをBaseライセンスや本体ライセンスと呼称します。

管理サーバには一つの本体ライセンスが必要です。

管理サーバを追加するために、同じ目的のシステムで使用できる、管理サーバ追加ライセンスが定義されています。

新規インストール後60日間は、全機能を利用可能な試用版として使用することができます。(＃15613)

Enterprise License

海外版では、Enterprise License が Enterprise Edition の代替として定義されています。Enterprise Licenseは管理サーバライセンスの一種です。これを入れることにより、Enterprise Edition 相当の追加可能なターゲットライセンス数、オプションが有効になります。

Option License

管理サーバ毎に必要なオプションライセンスを定義しています。オプションライセンスは SigmaSystemCenter の機能を有効にするために必要なライセンスです。

仮想サーバ管理オプション

- 仮想化環境、および、パブリッククラウドの管理機能を有効にします。Enterprise Edition に同梱されています。

コンテナ管理オプション

- コンテナの管理機能を有効にします。Enterprise Edition に同梱されています。

PFC Control オプション

- プログラマブルフロー コントローラの管理機能を有効にします。Enterprise Edition に同梱されています。

管理サーバクラスタライセンス

- 管理サーバをクラスタ構成で運用する場合に必要なライセンスです。本ライセンス1つで、1台の待機系サーバに適用可能です。

管理対象ライセンス

管理対象マシンごとにライセンスが必要です。

ターゲット ライセンス

SigmaSystemCenter 3.0以降、OSの種類ごとに分かれていたターゲットライセンスを統合しました。SigmaSystemCenter 3.0以前は、OSの種類ごとにターゲットライセンスが必要でしたが、共通のターゲットライセンスが使用できます。これにより、Windows から Linux へマシンを用途変更する場合に2つのライセンスを用意する必要がありません。(#4498)

ホストソケットライセンス

- ホストソケットライセンスはCPUのコア数に依存し、以下の4種類のライセンスがあります。SigmaSystemCenter 3.4から、“(17-32Core) ライセンス”を追加しました。(#16039)
 - VMホストソケット (1-8Core) ライセンス
 - VMホストソケット (9-16Core) ライセンス
 - VMホストソケット (17-32Core) ライセンス
 - VMホストソケット (無制限) ライセンス
- VMを管理する場合に、VMホストソケットライセンスとターゲットライセンスを混在させた運用ができます。設定方法や使用条件について、お問い合わせください。VMホストソケットライセンスを使用する場合に全てのVMサーバにソケットライセンスを適用する必要があります。VMと物理マシンが統合管理される場合のライセンス混在は従来どおりサポートされています。(#12183)
- ホストソケットライセンスは、パブリッククラウドのマシンを管理する場合にも必要となります。パブリッククラウドマシンを管理する場合には、以下のライセンスを選択してください。1ライセンスあたり、10台までのパブリッククラウドマシンを管理することが可能です。
 - VMホストソケット (9-16Core) ライセンス

その他のライセンス

- Differential Clone でVMを作成する場合、ホストソケットライセンスやターゲットライセンスを適用していても、VMの数分だけ Differential Clone オプション が必要です。
- ソフトウェアロードバランサ(LVS, NEC InterSecVM/LB)とファイアウォールアプライアンスの制御には Network Appliance Control オプション が必要です。Enterprise Edition には 10台分の使用許諾が含まれています。なお、Network Appliance Control オプション は Software Load Balancer オプション から名称が変更されたオプションです。(#14183)

Install

必要システム構成

インストールの前に、お使いのコンピュータが必要システム構成を満たしているか確認してください。詳しくはファーストステップガイド 3章 動作環境 を参照してください。

管理サーバ

最小ハードウェア構成

CPU

2CPU以上

メモリ容量

2GB以上

ディスク容量

13GB以上

NIC

1Gbps以上

推奨ハードウェア構成

CPU

4CPU以上

メモリ容量

8GB以上

ディスク容量

60GB以上

NIC

1Gbps以上

OS

- Windows Server 2022 Standard
- Windows Server 2022 Datacenter
- Windows Server 2019 Standard
- Windows Server 2019 Datacenter
- Windows Server 2016 Standard
- Windows Server 2016 Datacenter
- Windows Server 2012 R2 Standard
- Windows Server 2012 R2 Datacenter
- Windows Server 2012 Standard
- Windows Server 2012 Datacenter

必須ソフトウェア

- .NET Framework 4.7.2、または 4.8
- IIS 8.0 以降
- ASP.NET 4.5、4.6、4.7、または 4.8
- 以下のいずれかのデータベースソフトウェア（バージョンは後述）
 - PostgreSQL
 - Microsoft SQL Server

Runtime Environment

.NET Framework

.NET Frameworkが SigmaSystemCenter の動作環境として使われています。SigmaSystemCenter 3.12 は .NET 4.7.2 以降 を使用しています。

Java実行環境

Java実行環境は DeploymentManager で以下をおこなう場合に必要となります。
(SigmaSystemCenter 3.2 から JRE の同梱を廃止しました。)

- Linux用のOSクリアインストール用パラメータファイルの作成
- Linux用のディスク複製OSインストール用パラメータファイルの作成
- PackageDescriptor を使用したパッケージの作成

詳細は以下の製品Webサイトで公開されている「WebSAM DeploymentManager Java実行環境構築手順書」を参照してください。
<https://jpn.nec.com/websam/deploymentmanager/download.html>

IIS

SigmaSystemCenter 3.12 は IIS 8.0 以降 をサポートしています。

Database

データベースは SigmaSystemCenter が管理するIT環境の構成情報や設定を保存するために使われます。

PostgreSQL 13 x64 および Microsoft SQL Server 2019 Express x64 が製品にバンドルされています。

Microsoft SQL Server を使用する場合、デフォルトのDBインスタンス名は SSCCMDB と DPMDBI です。

サポートするDBMSは以下のとおりです。

- PostgreSQL 13.x (64bit)
- PostgreSQL 12.x (64bit)
- PostgreSQL 11.x (64bit)
- PostgreSQL 10.x (64bit)
- Microsoft SQL Server 2019
- Microsoft SQL Server 2019 Express
- Microsoft SQL Server 2017
- Microsoft SQL Server 2017 Express
- Microsoft SQL Server 2016 SP2
- Microsoft SQL Server 2016 SP2 Express
- Microsoft SQL Server 2016 SP1
- Microsoft SQL Server 2016 SP1 Express
- Microsoft SQL Server 2016
- Microsoft SQL Server 2016 Express
- Microsoft SQL Server 2014 SP2
- Microsoft SQL Server 2014 SP2 Express
- Microsoft SQL Server 2014 SP1
- Microsoft SQL Server 2014 SP1 Express
- Microsoft SQL Server 2014
- Microsoft SQL Server 2014 Express
- Microsoft SQL Server 2012 SP1
- Microsoft SQL Server 2012 SP1 Express
- Microsoft SQL Server 2012
- Microsoft SQL Server 2012 Express

Browser

SigmaSystemCenter 3.12 では下記のブラウザで動作確認をおこなっています。

- Microsoft Internet Explorer 11 (#19004, #14303)
- Mozilla Firefox
- Microsoft Edge (#23960, #23934)

- Microsoft Edge レガシー版(#17525)
- Google Chrome (#22347)

Resource Specific Information

本章は SigmaSystemCenter 3.12 リリースでサポートされるハードウェアや基盤についての情報を記載します。

管理サーバ OS

管理サーバのOSとして以下を追加しました。

- Windows Server 2022 (#24334, #24335)

管理対象 OS

管理対象マシンのOSとして以下を追加しました。

- Windows Server 2022 (#24334, #24335)
- Windows 11 (#24568)

仮想化基盤

管理対象の仮想化基盤として以下のサポートを終了しました。

- vSphere 6.0 (#23958)

VM管理

- VM クローンの操作時にクローン元からクローン先の仮想マシンにソフトウェア配布履歴を引き継ぐようになりました。(＃24854)

VMware

- 収集時のメモリ使用量を削減しました。ESXiあたり1MB程度のメモリ使用量が削減できる見込みとなります。(＃24744)

Hyper-V

- Hyper-Vプロバイダのログに、ジョブIDを出力するように改善しました。(＃24724)
- 構成パラメータ設定に過去一度も設定を追加していない状態で、Hyper-V仮想マシンをマスタマシン登録すると、エラーが発生してマスタマシン登録が失敗する問題を解決しました。(＃24841)

Deployment と Provisioning

Deployment

DeploymentManager 6.12

- 多台数の管理対象マシンに対して、一括でOSを配信する一括OS展開機能を提供しました。従来のOS展開時に必要となっていた大部分の操作・作業が不要となるため、効率的にOS展開を行う事が可能になりました。(＃24656)
- EXPRESS5800シリーズなどのサーバ機でWindows PE版Deploy-OSが使用可能になりました。Windows PE版Deploy-OSでは以下の対応が可能です。(＃24886)
 - セキュアブートへの対応
 - 従来のLinux版Deploy-OSでの未対応構成(オンボードRAIDなど)への対応

Policy と Action

- M.2 Raid ブートディスクのiLO IMLイベントを検出できるようにしました。(＃24998)

UI と API

sscコマンド

- イベント履歴を表示するコマンド (show eventhistory) を追加しました。(＃21916)
- ログファイルの排他でExceptionが発生すると処理が中断される問題を修正しました。(＃24808)

Web API

- API のバージョンを 2022-03-31 とし、性能取得系 Web APIの変更を行いました。(＃24938)
 - 性能取得系 Web API でサブシステムに仮想マシンサーバを指定した場合に仮想マネージャから情報を取得できるように動作を変更しました。(＃24909)
 - vSphere 7.0u3 環境で性能情報取得 API をサポートしました。(＃25045)
 - /api/performance/* の性能を改善しました。(＃24949)

Webコンソール

- 仮想ビューの仮想マシン詳細に表示されるOS種別が不正な値になる問題を修正しました。(＃24894)

その他

- ターゲットライセンスの消費数計算が正しく行われない場合がある問題を修正しました。(＃25011)
- 構成情報予約が解除できない場合がある問題を修正しました。(＃25080)

Copyright

This product includes software developed by the Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>).

This product contains Microsoft SQL Server Express, which is distributed by Microsoft Corporation without charge. Use these products after accepting their license agreements. For details of copyright and ownership rights, refer to the following license files: <folder where Microsoft SQL Server Express is installed>\License Terms

Some icons used in this program are based on Silk Icons released by Mark James under Creative Commons Attribution 2.5 License. Visit <http://www.famfamfam.com/lab/icons/silk/> for more details.

This product includes software developed by Routrek Networks, Inc.

Copyright (c) NEC Corporation 2003–2022. Version: 3.12–36543, SystemProvisioning 6.12.0007